



2022-2023 年度

国際ロータリー会長 / ジェニファー・ジョーンズ
2690地区ガバナー / 友末 誠夫

会長 / 杉原 朋之
副会長 / 清原 正幸
幹事 / 大島 淳司
会計 / 小汀 泰之

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
6月8日	青少年奉仕委員会	青少年月間に因んで
6月15日	創立50周年準備委員会	クラブ協議会 現況説明・部会別会議
6月22日	最終夜間例会	於) ホテルまり江
6月29日	休会	

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
38	29	9 (2)	80.56 %

■欠席者 ■

原伸/林/飯塚大/石原/園山/恒松/持田祐 (牧野/黒田)

■来訪者 ■

金山治正ガバナー補佐・草谷ちあきグループ幹事(大社)
6/1 山根(大社)・中村(松江しんじ湖)

■メイクアップ ■ なし

■次回例会受付当番 ■

(6月22日) 来間 久/福田磨寿穂/原 孝士
(7月6日) 林 浩司/堀江卓男/飯塚大幸

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう) ■

月	出雲中央	6/19	6/26(-)	松江南	6/19・26
火	出雲	6/20	6/27(-)	松江しんじ湖	6/20・27
水	大社	6/7・21	6/28(-)	松江	6/21 6/28(-)
木		(一)	ピジター受付 なし	松江東	6/15 6/22・29(-)
金	出雲南	6/9・16・23			

■会長挨拶 ■

みなさんこんにちは・・・今日は「勝負」についてお話をします。
皆さんも何か友達や家族、職場の人と勝負をするときがあると思いますが、「勝ちたい」と「負けたくない」とどちらを考えた方が多いでしょうか？
言葉だけみると、どちらも同じ意味合いですが、姿勢や心情を考えると、少し意味合いがかわってくるのが言葉の面白い所だと思います。
例えば「負けない、損をしない」という考え方が強くなると、新しいことを試したり、リスクを取ることを恐れるようになります。
そして、成長のチャンスを逃してしまう可能性もあります。つまり、挑戦しなくなるのです。
だからこそ、私たちは「～しない」ではなく「～したい」という精神を持つことが重要なのではないのでしょうか。失敗したくない。ではなく、成功したい！
仕事においても、失敗は学びの一部です。
これからみなさん一人ひとり、新たな挑戦を恐れず、自分自身の成長を追求していくことが大切だと思います。

■幹事報告 ■

1. ロータリーレートの変更

6/1より 1ドル140円 (現行136円)

2. 石倉ガバナーエレクト事務所より

地区大会のチラシが届きましたので配布致します。

3. 出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会 委員長 飯塚俊之様より大会(10/9 スポーツの日開催)への支援・協力をお願いがありました。

4. 第8グループ 美作 RC 田淵常由会長より例会場変更のお知らせ
次年度7/4(火)第1例会より

【新事務局】 〒707-0061 岡山県美作司中山1144
ゆのごう美春閣

TEL 0868-72-8111 ・ FAX 0868-72-0117

例会訪問等お考えの方、ご承知おください。

■委員会報告 ■

出席・親睦委員会 : 6月伴侶誕生・結婚記念 祝い

情報・雑誌委員会 : 4つのテスト 唱和

社会奉仕委員会 : 5/28(日)の海岸清掃奉仕、たくさんの方にご協力頂き無事に終わることができました。ありがとうございました。

■金山ガバナー補佐様 御退任のご挨拶 ■



2021年未曾有のことでした。新型コロナウイルスの世界的な脅威。もちろんわが国だけでなく、世界中がパンデミックにおびえて時ならぬ世相。そんな折に国際ロータリー第2690地区第4グループガバナー補佐としての大役を拝命しました。平時でさえ逡巡されるその任、本当に悩んだことでありました。

そのような状況の中で、国際ロータリー会長のジョーンズ氏の提唱される「多様性・公平性・包括性」を踏まえつつ、友末ガバナーの「ロータリーの素晴らしさを体感しよう！」の地区スローガンの下に、リモート、オンライン、ズーム会議等々、対面は極力避けながら親睦と奉仕の理念をどのように実践し活動するかなど、模索しながらの1年間でした。

それでも各クラブを訪問してのクラブ協議会、地区大会、IM、県内クラブ合同で行ったポリオ根絶御祈願プロジェクト、そして多くのロータリアンとの交流が持てたこと、地域奉仕活動も計画以上に対応できたこと、望外の喜びでした。これもひとえに各クラブ会長様、幹事様、さらには会員の皆様の格別のご指導、ご支援の賜と改めて厚く御礼申し上げます。

退任にあたりまして、ロータリアンの真髓を噛みしめながら、各クラブの発展と会員の皆様の益々のご健勝と清栄を念じております。これ以上語ると感謝の気持ちが薄れるような気がいたしますので終わります。ありがとうございました。

■入会式 ■

園 敬司 会員 (1980. 5. 9 生)

株式会社 ソノ 代表取締役社長

職業分類 : 贈答品製造販売

推薦者 : 松浦剛司・遠藤 寛

所属委員会 : 出席親睦委員会



■ ■ ■ スマイル ■ ■ ■

金山治正ガバナー補佐・草谷ちあきグループ幹事



杉原・大島 淳（金山ガバナー補佐様、草谷グループ幹事様ようこそお越し起こし下さいました。

園様の入会おめでとうございます。本日の例会行事青少年奉仕委員会の皆様よろしくお願ひ致します。）

清原・松浦（金山ガバナー補佐様、草谷グループ幹事様一年間お世話になりました。

園会員入会おめでとうございます。）

大谷（園さんのご入会を歓迎申し上げます。）

持田 稔（園様入会おめでとうございます。）

加藤（金山ガバナー補佐様、草谷グループ幹事様 一年間大変ご苦労様でした。）

高砂（金山ガバナー補佐様、草谷グループ幹事様 一年間ご苦労様でした。組合長を退任することになりました。理事 9 年間組合長 6 年間 ありがとうございました。）

佐々木（金山ガバナー補佐様、草谷グループ幹事様 一年間お疲れ様でした。お世話になりました。）

神田（金山ガバナー補佐様、草谷グループ幹事様本日はありがとうございます。園様 ご入会おめでとうございます。これから共に頑張りましょう。青少年奉仕委員会の皆様、本日の例会行事よろしくお願ひ致します。）

遠藤（園会員ご入会おめでとうございます。ロータリークラブの活動内容がわからないことだらけだと思いますので先輩方へ相談して早く慣れて頂きたいです。一番の近道は全事業・活動に参加して自らの気付きを得てください。）

■ ■ ■ 例会プログラム ■ ■ ■

「青少年奉仕月間に因んで」

青少年奉仕委員会 副委員長 荒木克之

背景として少子化にある中、塾がなぜこれほど増えたかということをお話したいと思います。

資料①4年制大学や短大、専門学校など進学先は色々ありますが、4年制大学だけを見てお話をすると、私が高校を卒業した平成元年の18歳人口は193万人です。進学率が24.8%の48万人だったのに対し、令和元年には18歳人口117万人、進学率53.8% 63万人が大学に進学していることが分かります。約35年のところで18歳人口は6割に減り、人数も76万人も減った(島根県民がまるまるいなくなっても足りないほど)

のに対し、大学への進学者は逆に15万人も増えているということが、学習塾が求められた要因のひとつだと思います。

資料②さきほどの資料①と同じ内容ですが、さらに言えるのは国立大学の入学者数はここ20年であまり変わっていないところ、私立大学が大きくその数を伸ばしていることが分かります。これも4大への進学者が増えた分の受け皿ということもあるでしょうし、様々な学部という多様化の表れかなと思います。

資料③男女別の表を見ても分かるように、平成元年頃の女子生徒は短大への進学が多かったのに対し、今では大きく逆転して4大への進学が高くなっていること、そもそもの進学率も男子に比べて女子の増加率が大きく上がっていることも、全体を押し上げる要因だということが分かります。加えて一家庭あたりの子どもの数の減少によって、その分の経済的余裕が家庭に生まれたことや、以前になかった傾向としては通学する生徒が低年齢化してきたということ、詳しく言いますと小学校高学年くらいから通塾する子がポツポツいたのが、最近では低学年の子からの問合せが出てくるようになってきました。こうしたことを合わせて考えると、子どもに掛ける世帯の教育費がひと昔前と比べると格段に上がっていることが考えられ、それもまた要因にあると思います。

こうした背景が業界全体を押し上げ、また新規参入しやすい業種でもあるところから、ここ数年、多くの塾が出来たのだらうと思っています。極端な話をすると、学生時代しっかりと勉強してきた、今でもそれを人に教えることが出来て、そしてそれを実行できる場所があったら荒木塾でも何でも出来るということです。また弊社の開業にしても、別に学習指導ができる社員がいたわけでもなく、塾のノウハウを持っていたわけでもないところでFCという形を取れば新規参入することは可能だったわけで、作るだけなら簡単な話です。

ただそこに落とし穴があって、実は教室の閉鎖や廃業なんていうのは近年かなり増えているようです。参入しやすいというのは反面、厳しい競争も生まれてくるので、なかなか経営的に苦しいところが多いと聞きます。さらに表にもあるように10年後には18歳人口が100万人を下回ってくるので、もっとも厳しい環境になってくると思います。これは塾だけの話ではなく、小学校や中学校など学校もそうです。現在、学校統合も進んでいます。これから先は学校も塾も多い所と少ない所の2極化が進むということだと感じています。

また先のコロナで家庭におけるWEB環境がぐっと良くなりました。この先、塾では教室での対面授業という前提が少なくなっていくかもしれません。今でも現役東大生から直接平田に住む子が毎日勉強を教えてもらうことも、技術的にはそんなに難しい話ではなく、こどもやはりDXに対応していくところが残るようなことになるのだらうなと思います。

ここまで勉強面についての話をしましたが、片方で次世代のリーダーを育てるようなロータリーの活動ももっと重要になってくると思います。学歴は立派だけど、メンタル面が弱かったり、考え方が少し外れたりしていてもつけないなと思われることって結構あると思いますが、そうした面の学びというのは、実はロータリーにあるプログラムがとても有効だったりすると思っています。

自分もJCでは色々な勉強をさせてもらったと思いますが、そうした経験はやはり次の代にも経験させてやりたいと思いますし、またロータリーにおいても青少年プログラムや青少年交換など大人と若者、日本人と外国人が接点を持てるような内容は多くあるようですし、ただそれがすぐどうこう出来るものではないと思いますが、平田の若者は平田の大人が育てる。それでその子たちがまた大人になって活躍することのお手伝いができたら嬉しく思います。

拙い話でしたが、ご清聴いただきありがとうございました。次年度は同じ委員会の委員長ということでございますので、しっかりと清原会長のもと、頑張らせていただこうと思います。ありがとうございました。